

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
420007	X-13/33-B-2-420007	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報システム設計	宮北 和之			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	3年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	2年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	2年		
授業目的							
情報システムの設計について、そのプロセスと方法論を学習する。情報システムの構築についてまず体系を理解し、方法論の必要性と種類、特徴について学び、事例を通して理解を深める。情報システムの仕事の仕組みを系統的に説明し、情報のモデル化の技法を工程別・体系的に説明することで、コンピュータシステムの設計へと結びつけていくプロセスを具体的に学ぶ。							
各回の授業内容							
第1回 【授】 情報システム開発の概論 【前・後】 復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。レポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第9回 【授】 プログラミング工程 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第2回 【授】 開発計画書 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第10回 【授】 単体テスト工程 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第3回 【授】 システム提案書 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第11回 【授】 結合テスト 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第4回 【授】 要求分析 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第12回 【授】 総合テスト 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第5回 【授】 外部設計 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第13回 【授】 品質管理 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第6回 【授】 内部設計 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第14回 【授】 プロジェクトマネージメント 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第7回 【授】 データベース設計 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第15回 【授】 開発ツール 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習として期末試験学習を実施すること。			
第8回 【授】 UMLによる内部設計 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第16回 【授】 期末試験			
成績評価方法							
期末試験は各講義に沿った問題を数題出題し全問の解答を求める。成績は期末試験結果（80%）と講義途中の提出レポート（20%）で評価する。課題の解法および参考解答を講義時に説明する。最終課題および期末試験については、参考解答をCampusmateに掲載する。							
教科書・参考書							
毎回、プリントを配布する。参考文献は毎回、講義の中で紹介する。 教科書： 大場みち子、伊藤恵、佐藤永欣、”情報システムの開発法：基礎と実践（未来へつなぐデジタルシリーズ（21））”，ISBN 978-4-320-12337-3、共立出版（2013.9）。							
受講に当たっての留意事項							
設計プロセス全体を継続して体系的に講義するので、散発的な出席では理解できなくなる。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×							×
学習到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの設計プロセスと、各段階におけるモデルの種類およびその役割を学習して理解できる。（期末試験とレポート60%） 簡単な事例について情報システムの具体的な設計を行い、図形表現モデルの作成方法が習得できる。（期末試験とレポート40%） 							
JABEE							
関連する学習・教育達成目標：E、G							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習